



あたごやま

奥出雲町立三成小学校 学校だより 令和6年度12月号

夢や希望に向かって
ちよんぼしづつ
前進しようとする三成っ子

☆みなりっこブログ



☆みなりっこブログ
ブログも更新中↑

令和6年もすっかり押し迫りました。2学期の学習のまとめも終わり、あとは楽しい年末・年始を迎えるばかりです。どうぞご家族おそろいで、よい年をお迎えください。

年始といえば、今年の元日に能登半島で大きな地震があったことは、今でも記憶に新しいところです。本校でも先月末に地震想定避難訓練をしましたが、訓練中にしゃべったり笑ったりする人がいて、とても残念でした。地震の犠牲になった人たちのためにも、私たちは命を守るための備えを一生懸命にするべきです。それが、今生きている者の務めだと思います。次回の訓練でリベンジです。



話は変わりますが、この2学期も充実したふるさと学習を展開することができました。私たちの暮らすふるさと奥出雲には、魅力的な「ひと」「もの」「こと」があり、子どもたちは、地域の皆様のおかげで、様々な学習の機会を与えていただいています。今回のたよりの1面では、感謝の気持ちを込めつつ、このひと月あまりのふるさと学習を特集しました。

ふるさとの宝“たたら”を体験しました

11月28日(木)から29日(金)にかけて、全町の6年生が旧島上小敷地内にある、たたら体験工房に集合し、たたら製鉄を体験しました。この学習は、8年前に博報賞という権威ある賞を受賞した、どこに出しても恥ずかしくないダイナミックな体験学習です。



これまでたたらに関わる事前学習を重ねてきた子どもたちですが、実際に体験するのはもちろん初めて。日刀保(日本美術刀剣保存協会)の方の指導を受けながら、意欲的に体を動かしました。

初日は、本操業に使う炉を作ったり、木炭を切ったりすることに加え、砂鉄を採る鉄穴(かんな)流しも体験しました。



2日目は、いよいよ本操業。砂鉄と木炭を正確に量り取り、炉に投入する作業に併せ、絶え間なく“ふいご”で空気を送り込まなくてはなりません。慣れない作業でしたが、他校の友だちとも元気に声をかけ合いながら、最後までやり遂げました。



そして迎えたクライマックス、“鉾(けら)出し”のとき。固唾をのんで見守る子どもたちの前に、真っ赤に燃える35kgもの大きな鉾が姿を現しました。

この瞬間の感動は、きっと子どもたちの胸に深く刻み込まれたことでしょう。そして、世界でただひとつのたたら火を守り通してきたふるさとに対し、誇りと愛着を一層深めたに違いありません。



炭焼き窯に入ってみました

11月15日(金)、4年生が炭焼きの作業の一端を体験させていただきました。ご指導いただいたのは、やま子会の皆さんです。この日、させていただいたのは、できあがった炭を窯から出す作業と、新たに炭にする木材を窯に詰める作業でした。体を動かして何かをすることが得意な4年生。声をかけあいながら、夢中になって(そして顔を真っ黒にしながら)作業に臨みました。



やま子会代表の長谷川さんからは、「やま子会には、いろいろな分野のプロがいて、互いに支え合いながら仕事を進めているよ。4年生も、みんなの得意なことを合わせれば、きっとなんでもできるよ。」というメッセージをいただき、ますますやる気を高めた子どもたちでした。

今回の体験は、6年生になったときのたたら学習にもきっと活かされることでしょう。



生まれて初めて そばを打ったよ

12月5日(木)には、2年生がそば打ちを体験しました。指導して下さったのは、2名のそば打ち名人さん。炭焼き体験と同様、中央公民館さんがコーディネートしてくださり、実現したものです。

子どもたちのほとんどは、そば粉に触ることさえ生まれて初めて。粉をこねて生地を作ることも、麺棒で延ばすことも、なかなかうまくいきません。それでも、そば打ち名人さんが粘り強く指導して下さったおかげで、なんとか全てのグループがそばを完成させることができました。

麺の太さに多少の(?)ばらつきはあったものの、味は、もちろん最高!粉で白くなった顔を見合わせながら、満足そうに麺をすする子どもたちでした。

奥出雲は、町外にもたくさんのファンが存在する県内有数のそばどころでもあります。子どもたちには、町外の人に出会ったときに、ぜひ今回の経験を自慢してほしいと思います。



仁多郡毛筆書写審査会

◆金賞(各学年とも郡内で5点)

3年	●●	●●	●●	●●
5年	●●	●●	●●	●●
6年	●●	●●	●●	●●

◆銀賞(各学年とも郡内で10点)

3年	●●	●●	●●	●●
4年	●●	●●	●●	●●
5年	●●	●●	●●	●●
6年	●●	●●	●●	●●



年明けには、県の書初め展に参加します。冬休みの課題の一つでもありますので、がんばって書いてほしいです。

いざ、ビブリオバトル!

ビブリオバトルという、読書に関するゲームをご存じでしょうか。何名かの発表者が、本の魅力をプレゼンし合い、チャンプ本を決めるというコミュニケーションゲームのことです。

これまでは、図書委員会の中から発表者を出して実施してきましたが、11月14日(木)と21日(木)の大会では、全校から発表者を募るといふ初の試みがなされました。

果たして立候補があるのかどうか心配していたのですが、無事3名ずつの発表者が決まり、



この2日間の開催にこぎつけたわけです。

それぞれの発表者は、自分が選んだ本のすてきなところが伝わるよう、一生懸命にプレゼンしていました。また、聴衆である他の子どもたちも、真剣に耳を傾けていました。

プレゼン終了後、どの本が読みたくなったかという基準で投票し、順位が決まりはしますが、勇気を出して登壇した全ての発表者がチャンピオンです。

本を中心にして、みんなが楽しい時間を過ごせた、とてもすてきな時間でした。

みんなで盛り上がった親子活動

11月23日(土)には、市民体育館を会場にPTA親子活動が行われました。内容は、3チームに分かれての親子ミニ運動会です。様々な競技で大いに盛り上がり、寒さも吹き飛ばしました。



みんなで楽しい時間を過ごせたのは、子どもたちはもちろんのこと、保護者の皆様の積極的な参加があったおかげです。

また、何度も会合を重ねて準備し、当日もすばらしい連携で運営してくださった役員の皆様、大変ありがとうございました。



プログラム

- 1 開会式・ラジオ体操
- 2 王様じゃんけん
- 3 玉入れられる?
- 4 ペットボトルたおし
- 5 スーパーキャッチ
- 6 つなひき
- 7 閉会式・表彰

学んでいます「食」の大切さ

仁多中学校の栄養教諭の先生を講師として、各学年とも食の学習を行っています。最近では、11月21日(木)に5年生が、12月6日(金)に6年生が学習しました。

5年生は、「出汁」がテーマでした。出汁を入れたみそ汁とそうでないみそ汁を飲み比べ、和食においては、いかに出汁



が重要な役割をしているのかということを経験的に学びました。ほとんどの子どもたちは、ちゃんと出汁のうまみがわかっていて、しかも何からとった出汁なのかまで当てる人までいました。

6年生は「バランスのよい献立」がテーマでした。1食分の給食のメニューを提案するという学習です。今回、最優秀賞に選ばれたメニューは、実際に3学期のメニューに採用されるだけに、子どもたちはこれまでに学んだ知識をフルに活用してメニューを作り、懸命にアピールしていました。当日の給食が、今から楽しみでなりません。



生活習慣を整えよう

11月18日(月)～24日(日)は、今年度2回目の「生活習慣チャレンジ週間」でした。「早寝・早起き」「朝ごはん」「メディアコントロール」などの、家庭における生活習慣を見直すための週間です。

子どもたちは、おうちの人と相談して決めた自分なりの目標に向かって、取組を続けました。

登校してくる子どもたちを昇降口で出迎えていると、明らかに寝不足のようすで元気がなく歩いてくる子どもが、毎日少なからず見られます。残念ながら、こんなようすでは一日の活動を充実させることなどできっこありません。

健康な心身は、望ましい生活習慣という土台の上でしか得られないということは、常識中の常識です。しかしながら、そのことは、子ども任せでは定着しないことも事実です。冬休みを目前に控えた今、ご家族ぐるみで生活習慣を見直してみたいはいかがでしょうか。



ご寄付をいただきました



三成地域農地・水環境保全管理協定運営委員会様より、図書カードをご寄付いただきました。児童用図書の実用のため、有効に活用させていただきます。大変ありがとうございました。

◆◆◆当面の行事予定◆◆◆

- 12/25 (水) 2学期終業式
- ★☆☆令和7年(2025年)★☆☆
- 1/8 (水) 3学期始業式
- 1/9 (木) 給食開始
- 2/4 (火) スーパーホッケー交流会 (6年)
- 2/7 (金) にこにこ発表会 (こすかじ) 一日入学 (年長児)
- 2/13 (木) 授業公開日 (授業公開、PTA役員会)

